

小学校

s 4-16

4 学年

変わり方

【ねらい】

伴って変わる二つの数量の関係を表したり調べたりすることができる。

【特徴】

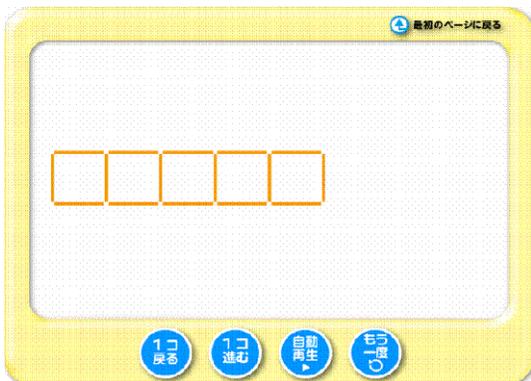
- ◇ 黒板と同じように活用することができます。
- ◇ 数字や記号はカード形式になっているので同じ数字や記号が何度でも使え、移動も自由にできます。

【関連する単元】

- ◇ 中学 1 年「一次方程式」
- ◇ 中学 3 年「二次方程式」



活用場面】 導入段階の課題提示、算数的活動の後の検証、知識・技能の定着



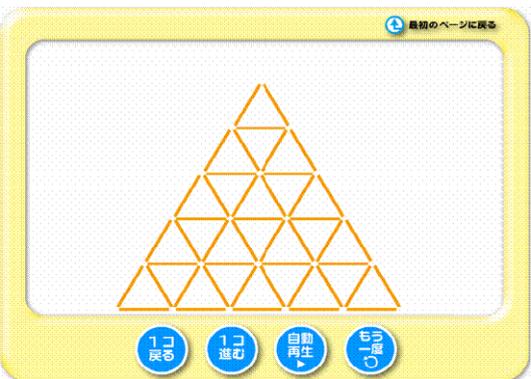
伴って変わる二数量の関係を自由に抽出し、考察させるのに有効です

正方形を横方向に連続して構成する中で、伴って変わる二数量を自由に抽出させ、表にまとめたり、式に表したりして調べることができます。

- ◇ 変化する二数量を自由に見付け出させます。
- ◇ 二数量の関係を表に整理させます。
- ◇ 発表させ交流します。
- ◇ 式に表せないか考えさせます。

正方形の数	1	2	3	4	5
棒の数					

正方形の数	1	2	3	4	5
周りの長さ(本数)					



二数量の関係を発展的にとらえさせることに有効です

三角形の段数とできる三角形の個数の関係をとらえた場合、段数の2乗(段数×段数)ができる三角形の個数となり、発展的な学習につながります。

- ◇ 変化する二数量を自由に見付け出させます。
- ◇ 二数量の関係を表に整理させます。
- ◇ 発表させ交流します。
- ◇ 三角形の段数とできる三角形の個数の関係をとらえます。
- ◇ できる三角形の個数=段数×段数の関係をとらえさせます。

三角形の個数	1	2	3	4	5
棒の数					

三角形の段数	1	2	3	4	5
三角形の個数					